

その一番の要因は支援・援助の継続性、復興へのビジョンの乏しさだと思います。そこで継続的な支援が行えるよう、現在NPO法人の設立の申請を私が理事をお引き受けし準備を始めました。(9月に設立予定です) このNPO法人は被災地は勿論のこと、保護者のいない児童、虐待児童、その他環境上養護を必要とされる青少年等も支援したいと思っております。子供たちの生活の安定をはかり、未来(将来)を創り、道徳・倫理・想像力を磨き、社会へ旅立つ(自立)を応援することを目的としたNPO法人です。

多くの企業や個人の方々から、このNPOの趣旨に賛同し、ご協力・賛助をいただいております。本当にありがたいと思っております。

松戸北ロータリークラブの方にもNPOへの賛同をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございます。

これからも未熟ながらもがんばりますので、どうぞご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

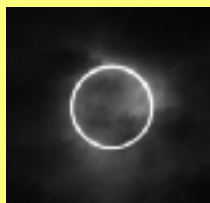
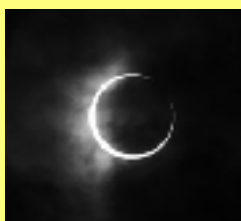
(2012年5月22日(火)例会場にて)

2012年5月21日(月)午前7時34分30秒

「金環日食の撮影に成功」

高橋 修会員

今回の日食は、九州南部・四国の大部分・紀伊半島から本州の関東付近にかけての地域で、金環日食を見ることができました。この太陽は高橋修会員の望遠カメラで撮られた金環日食です。太陽の前面を月が通過するために、食が最大になる前後には、太陽がドーナツ状になる様子を観察することができました。中心食帯の中心に近いほど月は太陽の真ん中を通り、中心食帯の端の地域ほど、月は太陽の真ん中から外れたところを通ることになります。



次回の金環日食は18年後2030年6月1日北海道地域で観測できるそうです。

5月23日(水) 第12分区親睦ゴルフ大会開催

開催場所 鎌ヶ谷カントリークラブ
受付開始 午前 7時20分

松戸RC 松戸東RC
松戸北RC 松戸中央RC
松戸西RC (以上5クラブ)

恒例の12分区親睦ゴルフ大会が行われました。今回ホストクラブは松戸ロータリークラブ。会長 常盤映彦さん、実行委員長 中山政明さん、競技委員長 申 澈権さん他 多数の松戸クラブのメンバーの厚い心配りの中で進められた。前日の雨が嘘のような好天で、しかも爽やかな微風で楽しく和やかに親睦の実をあげた一日だった。(伊師会報委員長)



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌
・広報委員会》

委員長:伊師 剛迪
委員:平田 洋一

副委員長:大川 隆永
委員:高崎 卓哉

社会奉仕基金
3,751円

WEEKLY REP  RT

国際ロータリー第2790地区第12分区
松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
 - 2・みんなに公平か
 - 3・好意と友情を深めるか
 - 4・みんなのためになるかどうか

第1918回 例会 (第 43 週) 2012年 5月22日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー
第2790地区ガバナー 山田修平
第12分区ガバナー補佐 安井克一
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ボウル1F
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

 会長挨拶：鈴木悦朗

皆さんこんにちは。世界一高い電波塔の東京スカイツリー（634メートル、東京都墨田区）と一帯の街区「東京スカイツリータウン」が本日、午前9時40分ごろ、開業いたしました。今日だけで来場者は約20万人の見込みだそうです。首都圏の新たなランドマークとして、ツリーブームで当分にぎわいそうです。運営会社によると、初日の入場券9000枚は完売。7月10日まで完全予約制で、連日ほぼ満員状態だそうです。

ツリーは、東京タワー（333メートル、港区）に替わる首都圏の電波塔として平成15年にプロジェクトが発足。東武鉄道貨物操車場跡地に20年7月着工、今年2月完成した。総事業費は650億円。中国の広州タワー（600メートル）を抜き、世界一のタワーとしてギネス記録にも認定されました。世界一高い電波塔として開業した東京スカイツリー。高さ634メートルが東京や埼玉、神奈川の一部を含む旧国名「武蔵（むさし=634）」の語呂合わせで決まったのはご高承の通りです。一方で、東京タワー（333メートル）の倍の666メートルといった“幻の候補”もあったといえます。

事業主体の東武鉄道によると、628メートル（浅草寺創建）や、645メートル（大化の改新）のように年号にちなんだ案もあった。子供の成長をイメージし、小、中、高校生の在学年数を並べた633メートルも候補に挙がったが「外国人に理解されにくい」との理由でいずれも却下されました。2006年に発表した計画では610メートルでしたが、その後、中国の広州タワーも600メートル級を想定していることが分かり、世界一を目指すため「背伸び」が決まりましたが、構造設計上は640メートルが限界のため、634メートルになりました。



日本刀と五重塔。最先端の技術が詰まった東京スカイツリーに、“和”の伝統が受け継がれています。

スカイツリーを眺めると輪郭がわずかにふくらんでいるように見えます。これはスカイツリーの特殊な形のため。地上では横に切った断面が一辺68メートルの正三角形。

上に向かうにつれ断面が徐々に丸くなり、地上315メートルでほぼ円形になる。足元の三角形の3つの角から上に伸びるラインは反っているが、側面はふくらみ、球面の一部のよう。ふくらみは「起(むく)り」とも呼ばれる。

東京タワーの断面はどの高さでも正方形で左右の輪郭のバランスがとれて見えるが、スカイツリーは三角形と円を組み合わせた形のため、ほとんどの場所からは輪郭が反りと起りがある曲線に見え、左右非対称だ。反りと起りは日本の伝統的な形です。反りは日本刀の刀身のように、直線とは違う美しさがある。起りは古い寺社仏閣の柱に見られ、柱を少し膨らませ、見た目の印象を柔らかくしてくれます。日本の伝統をうまく復古創新の気持ちで取り入れたスカイツリー、10年後20年後には東京のシンボルになっていることでしょう。



今日は、高崎会員の卓話。近況報告をしていただきます。また**例会終了後、クラブ協議会**を予定しております。ご出席のほどよろしくお願い致します。

 幹事報告：児山守治

1. 訃報

第2790地区 P G 佐川一元様のご令室
佐川しげ様 5月18日ご逝去

2. 東日本大震災復興支援

松戸花火大会2012年に係る協賛のお願い

卓話

高崎卓哉 会員

皆さん こんにちは！

松戸に住んで35年、父の会社を継いで今年で17年、松戸北ロータリークラブにお世話になって4年になります。父の仕事の関係で小学校5年生のときに松戸に移ってきました。小学校5回目の転校です。

転勤転勤の連続ですから、忙しい父とのかかわりはあまり良いとはいえ反抗ばかりの子ども時代でした。将来、父の会社を継ぐとは夢にも思っておりませんでした。

会社に入り大きな心境の変化は、自分が社会にでて初めて世の中の厳しさ、父の偉大さに気づきました。社会人になって2年目のとき、全国80社 フランチャイズ展開していた J R C 日本引越しセンターを新しい体制で運営することとなり「お前がやる気があるなら J R C でやってみないか！」と父に言われ、父との会話は10年ぶりでした。たしかこんなにきちんとした会話は本当に久しぶりでした。私は

「どうか、よろしくお願ひいたします」

思えば今から24年前のことでした。

入社3日目に父に呼ばれ 営業成績が悪いといわれ給料は今までより減額され、しかも、周りの人たちに社長の息子ということで嫉みや僻みの連続の日々でした。ここで発奮「よーし！！俺がやってやろうじゃないか！結果がすべて！実力で証明してやるぞ！」。その後 3年間連続で全国フランチャイズ営業マンのトップに駆け上がりました。今でもその時の自信は持ち続けております。

会社を継いだのは入社 6年目に関東圏全域の自社便で、引越し事業展開にシフトチェンジする。全国のフランチャイズを解消し J R C グループを新たに設立。 J R C グループの本社の運営を「来月から、お前が社長だ！」といきなり言われました。28才でした。

当然、「自分は年もまだ若いし、経験も浅い社長としてはまだ……」といいましたら、

父は「社長とは年令でやるものでも、経験をつんだものがやるとはかぎらない。社長とは能力でやるものだ自分も始めたときはそうだった。」それから早いもので17年間社長としてやっております。去年2011年3月11日 東日本大震災が発生いたしました。私どもは、引越し繁忙期の真っ只中でした。そんな中、東北の方で死者・行方不明者が20,000人以上と大変なことになっておりました。全社員、家族も、もちろんみんなの安否確認に丸2日間、泊り込みでやっと家に帰れたのは3日後でした。

それから**大変の連続**です。引越し予約のキャンセルやら延期やらガソリンは確保できず道路は封鎖と運送事業者には大打撃・危機的状況です。その様な中、いくつかの大使館から被災地へ救援物資を届けてほしいという要請がありました。震災地区、避難地区からの荷物の運搬等々……問い合わせが殺到しました。

しかしガソリンも欠乏、道路事情もままならない、そんな状況のなか、どこまで出来るか自分でもわかりませんでした。一応、了承し各国の大使館からの救援物資と J R C グループの救援物資を集め運搬していたところ、弊社の活動を聞いた取引先企業や契約ガソリンスタンドから、ご協力をいただくことができました。お蔭様で弊社への引越し依頼が殺到いたしましたのでございます。

J R C グループ最大の危機は、一転大きな大きな転機となりました。そのような経緯から弊社では被災地や避難地域へ、一年2ヶ月 継続的に義援金・物資・寄付・被災者の受け入れ等を支援させていただいております。

しかし残念ながら復興・復旧は未だ一部の地域のみです。東北地方の厳しい状況の中、支援・援助は少しずつ減ってきているというのが現状です。

(次ページにつづく)



ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」 Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。